

12 ceramic ware

小鉢 × 用美
・
珍味入

料理箱、料理皿、弁当箱、盛込が料理を盛り付ける主役とすれば、小鉢や珍味入は脇役といえるかもしれません。ただ、主役を引きたてるのも脇役次第、主役との絡みでさらに料理をおいしく見せる名脇役です。また、使い方次第で盛り付けの主役となるのも小鉢・珍味入のおもしろいところです。「用美」の小鉢・珍味入は、料理人の創造力を高める色・形・素材に富んでいます。

扉の色：梅紫(うめむらさき)

鈍い赤紫色。紅藤をさらに紅色がからせた色合いです。ちなみに、色名の「梅」とは紅梅の紅色を指します。この色名は、江戸末期から明治時代に派生した比較的新しいものと考えられています。

扉の柄：鮫小紋(さめこもん)

細かい点で円弧を重ねた様子が鮫の肌に似た模様。角通し、行儀とならんで、小紋三役のひとつで、格の高い模様です。